



認定NPO法人大阪精神医療人権センター

# 権利擁護システム研究会 ご案内

過去の権利擁護システム研究会テーマ：医療保護入院（2017年度）精神医療審査会（2018年度）身体拘束（2018年度）長期入院（2019年度）治療文化（2020年度）虐待防止（2021年度）家族（2022年度）  
過去の研究実績等は、人権センターニュースにて確認できます。  
一部のコンテンツは、大阪精神医療人権センターのウェブサイト又はフェイスブックにて無償で公開しています。

大阪精神医療人権センターでは、「社会をかえる」というビジョンのもと、政策提言活動や精神疾患、精神障害に対する差別、偏見をなくすための啓蒙活動を行い、安心してかかれる精神医療の実現を目指しています。権利擁護システム研究会では、精神医療施策の課題について、各論点に造詣の深い有識者からの話題提供を受け、それぞれの立場を超えてともに考え、議論する場を設けています。

2023年度は、2022年度のテーマであった「家族」の続編として、「家族に関する法制度」をテーマにします。2022年度は家族の実情編で、2023年度は、家族の制度編となります。精神保健制度における、家族の位置付けやあり方について、ともに考える機会にしたいと思えます。

具体的には、家族に頼らなくてもいい支援のあり方、民法上の扶養義務者とされた家族がいかにして精神医療制度に取り込まれていったか、民法上の不法行為損害賠償責任における家族責任論（2016年のJR東海最高裁判決）を企画しています。

## 定員

45名（予定）

## コーディネーター

竹端寛さん（兵庫県立大学）・原昌平さん（ジャーナリスト等）

## 参加費

一般参加費（3回分）4,000円

割引参加費2,000円（一般参加費のお支払が難しい場合）

【※】1回のみ参加の場合：2,000円。ただし、人数の都合上、3回通し参加申込みの方を優先させていただきます。

## 募集条件

- ① 大阪精神医療人権センターの会員の方（ただし、申込時点では、会員ではない方も、研究会への参加が決まった後、会員申請していただければ問題ありません。）
- ② 当センターの目的に賛同し、日本の精神医療の現状をかえたいと考えている方

午後2時～午後4時

2024  
2/3

■ 第1回 オンライン (zoom)

## コミュニティ支援の実践

山本智子さん 近畿大学教職教育部教授

ご著書『「家族」を超えて生きる～西成の精神障害者コミュニティ支援の現場から』（2022年・創元社）は、家族以外の様々な支援も活用しながら生きる当事者の実態に迫るオススの本です。

午後2時～午後4時

2024  
2/24

■ 第2回 オンライン (zoom)

## 精神障害者家族と社会保障制度

風間朋子さん 関西学院大学人間福祉学部准教授

精神障害者の社会保障を研究テーマとし、精神保健福祉関連法における家族規定の変遷を研究されてきました。

午後2時～午後4時

2024  
3/30

■ 第3回 大阪弁護士会館10階（リアル会場）+ オンライン (zoom)

## 精神障害者家族の民法上の損害賠償責任（民法714条論）

木内道祥さん 弁護士・元最高裁判所判事

最高裁判事として、夫婦別姓制度裁判やNHK受信料訴訟など数々の裁判に携わり、民法714条論がテーマとなった、JR東海事件最高裁判決（2016年）も担当されました。

\*各研究会では、外部講師の方の発表の後、グループにわかれて、意見交換を予定しています（第3回は、グループ意見交換は会場のみ）。

## 申込方法

VISA, MasterCard, JCB, AMEX, Discover, Diners Club  
コンビニ / ATM / PayPal, 銀行口座振替



<https://omh-system2023.peatix.com/>